

9月16日、生徒会本部役員を中心とする約30名の有志が、人々の絆や震災からの復興への願いを込め「We are the world」を合唱しました。「沸き上がれ 東魂 光り輝け けやきの空」をスローガンに掲げた三芳東中学校の「けやき祭」が始まりました。

続いて吹奏楽部による演奏です。最近流行した曲や懐かしい曲を5曲披露しました。とても迫力ある演奏でした。

次は、1・2年生の発表です。1年生は「夢をつかめー絆ー」をテーマに、劇・組体操・ダンス・合奏・手話合唱を、2年生は「未来」をテーマにした絵を「はり絵形式」で作成した「ビックパネル」・劇・ボディストラップ・三段タワーを発表しました。そして、メインは3年生によるクラ



3年生の舞台発表の様子

ス劇の発表です。東中では3年生になるとクラスごとに劇を発表するのが代々受け継がれてきた伝統です。1組は

「New Story Snow White Princess」、2組は「KING OF POPマイケルジャクソン レジェンド ストーリー」3組が「屋根裏チュー学校」と、今年も生徒のアイデアを随所に盛り込んだ三者三様の舞台発表を披露しました。

校舎内では、美術部・家庭科部の作品、理科の自由研究や技術・家庭科の発明創意工夫展の出品作品が展示されました。

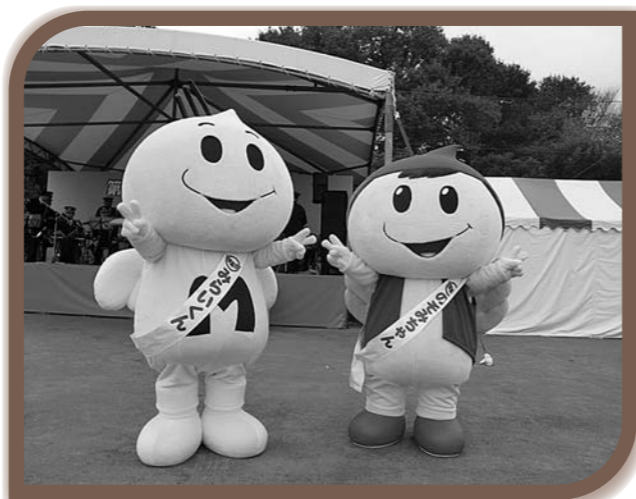
生徒の感想の一部を紹介します。「初めはもめたりして思うように準備が進まなかったけど、日を追うごとにクラス内がまとまっていった。」「皆で協力して一つの劇を作り上げようとする雰囲気ができ、当日は満足のいく演技ができた。」「練習や準備を通じて友だちの違う一面を発見することもでき、クラスの絆が深まった気がする。」

このように、皆で一つのものを創り上げることを通して、達成感や成就感を味わったり、お互いのよさを認め合い、協力を学んだり、日々の教科の学習では学べないことを学ぶことができる「けやき祭」。三芳東中学校では生徒が誇りとする三大行事の一つとして行われています。

図学校教育課 (☎523)

第31回

三芳町産業祭



東日本大震災復興支援 当日募金箱を設置し、被災地へ寄付させていただきます。

平成23年11月13日(日)

午前9時30分～午後3時(雨天決行)

会場：三芳町立総合運動公園

お問い合わせ：産業祭実行委員会事務局

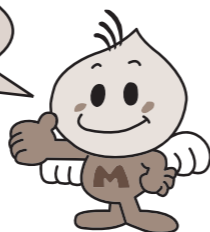
(三芳町環境産業課)049-258-0019

主催：三芳町産業祭実行委員会

協賛：三芳町・三芳町商工会・JAいるま野・三芳町各農業団体

三芳町各商工業団体及び三芳町各種団体

産業祭に来てね!



上富の農業センター脇に復元された旧島田家住宅は、平成三年まで上富の島田功家の住宅として使用されていたものです。住宅の建て替えに伴い、氏のご厚意により町が部材の寄贈を受け、三富開拓三〇〇年記念として平成八年に移築復元が完成しました。

旧島田家住宅は、今から一八〇年以上前の文化・文政期(一八〇四～二九)に建築されたと推定される民家で、間口十一間半(二〇・九m)、奥行四間半(八・二m)、建坪五二坪(二七・一㎡)の大型住宅です。三富に現存する民家の中でもっとも古いものであり、間取りが「喰違い型四間取り」という「広間型三間取り」から「整型四間取り」への移行期に当たる間取りであるため、伝統的な民家の変遷や技術をたどる上からも重要であり、平成六年三月、町の有形文化財に指定されました。

開拓当初、入植農民の家は間口五間、奥行き二間の一〇坪(約三三㎡)ほどの小さな家を建てることとされてきました。しかし、さつまいもの栽培が始まり、開拓からおよそ一〇〇年が経過した化政期になると、江戸で評判となるほど「富のいも」の出荷量も増え、川越藩主柳沢吉保の願い通り富んだ村となり、島田家のような大型の住宅が建築されるようになりました。

島田家では、島田伴完により天保元年(一八三〇)から上富小学校が開校する明治七年(一八七四)まで、寺子屋「玉泉堂」が開設されていたことも知られています。玉泉堂には、周辺四〇ヶ村から延べ三〇〇人もの子弟が集まりました。江戸時代の終わり頃になると各地に寺子屋が開設されていますが、現在まで当時の建物が現存している例は少なく、教育史の観点からも貴重な建物であるといえます。

「富の川越いも」の織はためく晩秋のけやき並木通り。農家の庭先販売を巡りながら、旧島田家住宅を訪ねてみてはいかがでしょうか。

図社会教育課 (☎517)



旧島田家住宅